

家忠日記

五

リ 5
749
5



伊予門
號 49
卷 5



家忠日記第五

文學博士坪井九馬三

日下

寛

校訂

天正十七年己丑正月大 小年卅五

一 日己酉 後達門決め出仕す

二 日庚戌 為りしすし 出仕い又いひ初こ出い

三 日辛亥 杉原善六おへ敷家すこい一休のけい

四 日壬子 板倉四郎右衛門所ふ多舞い夕め善六へこ

い

家忠日記第五

五日 丑 普清直並して魚川迄りへり
 六日 卯 ありい迄歸り 雪降
 七日 辰 ふくく其細いお跡い普清直こり
 八日 辰 下へ系い
 九日 巳 丁
 十日 戌 午
 十一日 己 未 南城坊祈禱い竹谷迄りこのり了礼こ其城い
 金左、系イ中い
 十二日 庚 申 雪降のも又左系の墨谷と左系の礼こ其城い
 十三日 辛 酉 例年の連歌こ竹谷と次郎墨崎法安其越い

散句勘左

康定

車や粒玉松の枝のふくみり

十四日 壬 戌
 十五日 癸 亥 今午へ系い
 十六日 甲 子 竹谷備後所へ連歌までありい
 十七日 乙 丑 追留まで同与次郎所と其系い
 十八日 丙 卯 名下系大洞より其越いて系い 修理所こふ
 多系い 永良へこりいありひうせい其十本ふ
 ありまい
 十九日 丁 卯 同ありひうせい其五本ふ其多系中其系左系い

ふる舞の夕め一同糧兵尉所ふる舞

廿日戌 西郡固幡所ふる舞之連歌

廿一日己 今午東堂振ふる舞

廿二日庚 雨降 初ふちふち 點五の連歌

備後占江郎城

廿三日辛 竹谷京北城ふる舞 幼幼中

ふる舞

廿四日壬 西郡固幡城

廿五日癸 瀧長寺城 臨川熊谷新之助城

廿六日甲 ぐせんちの定玉ひりり 雨降

廿七日乙 あさ迄雨降 辰松より此分國中

て来十日時分連歌を京郊へ

て出らんいりんよ 大窪治戸少輔所より

信幼部中へ折参

廿八日丙 駿府の普請にあつて迄

り同日の秋南風吹いて火事出来

け

廿九日丁 是川益田迄

野あつてお中

晦日戌 駿府へ参るに中りこり雨降 落付十三郎

己第五

ふる舞い

二月小

一日 乙卯

二日 庚辰

三日 辛巳

四日 壬午

五日 癸未

革

石うけ普請系い

晩より雨降

殿様遠州より帰城い水野清六所へふる舞い

てこい

雨降 関原源右所いふる舞いとこい申刻い

大地震いすう川原奥國方表久保沼津城い

毎いこい門迄せんい

六日 甲申

七日 乙酉

八日 丙戌

九日 丁亥

雨降 西城へ鷹之振舞は成い

同勘解由入道い玄徳と申い

三州遠州駿州連款士世いせいて点取連歌は

成いりんとい今日いい

あさめい備後所へふる舞いとこい夕めい

石川左衛門大捕所へ備後同心い教家いこい

い其壺見い

十日 戊子

十一日 己丑

備後作手美作振舞い 晩より雨降

小侍主てつい普請當い ふういをいい

当いて与い即返い坡途歌い城い今日成い

家忠日記卷五

是日十人獲句ハ作州獲句ヲ以
松乃多也粒一ノ石の多みり

三川宮

瀧の表号

源海玄傳

日正傳

竹若備後守

作子 貞作守

園崎そけい

石のうゑ如雲

雲巴

三益

以雲

十二日 庚子

雨降 飯板水上落サ旨々とお空ハ

十三日 辛卯

雨降 作州吉田町を子出仕ハ

十四日 壬辰

晚雨降 波連歌山城ヲてら成ハ

今日も各句

雲崎そけい

さうしとやり多しとまらる山梯

十五日 癸巳

江部大炊助所ニ備後と多舞ヲて同心成ハ

十六日 甲午

又山城連高ハ各句

正傳

ふと来しと花ハ法少くのさうり抄

以上三石類京初トて点く此とりハワルヲて

十七日 乙未

石川石見所ハ備後同公トて多舞トてハ

十八日 丙申

秋雨降

十九日 丁酉

石く松石在ハハ松平伊豆守と多舞ハ又松原

善六所ニ備後ニ舞ヲて取見ニハ

朝ハ一鳴ハ其甚ク多舞ハ

廿日 戌

廿一日 己

花楊院ふ多舞ハ 備後玄修正修與國了ハ越

廿二日 庚

廿三日 辛

廿四日 壬

廿五日 癸

廿六日 甲

廿七日 乙

連歌士與ナリ舞ハ落付ふ多舞ハ

所ハふ多舞王ニシ

雨降 出上洛以大方格以煩取延ハ深尾浩十郎

雨降 若沼織部所ニシ

雨降 少弓ハシ

雨降 上洛正ハ

廿八日 丙

廿九日 丁

三月 大

一日 戊

二日 己

三日 庚

四日 辛

五日 壬

竹次郎以大方格以煩取延ハ舞ハ城ハ 西門在ト本

田中務同心在喧嘩ハ双方一人ハ了セハ

雨降 松平弥三郎所ハ振舞ニ城ハ

松平弥三郎戸田左門ふ多舞ハ

板倉四郎右衛門ハ所ニふ多舞ニ城ハ

杉原八郎三郎所ハふ多舞ニシハ吹ハ隣所

ふ多舞ハ

六日 癸巳
七日 甲子
八日 乙卯
九日 丙辰
十日 丁巳
十一日 戊午
十二日 己未
十三日 庚申
十四日 辛酉
十五日 壬戌

晚より雨降

雨降

天野之邸兵衛所へ火事出来

小栗



如鶴

十六日 癸亥 雨降

十七日 甲子 小栗二右衛門所へ振舞

十八日 乙丑 晩雨降 小性所へ舞

十九日 丙寅 本田信濃守所へ舞

廿日 丁卯 本田佐治同心天野孫之所へ振舞

廿一日 戊辰 雨降

廿二日 己巳 如雲へ舞

廿三日 庚午 江部大炊助所へ舞

廿四日 辛未 祢々所へ舞

廿五日 壬申 小栗又一 不乃舞

廿六日 酉 雨降 水野法六所へふる舞をこし

廿七日 戌 花楊院ニウケの振舞

廿八日 亥 遊会

廿九日 子

晦日 丑 家の支本とけ、山りへ人数こし

四月 小

一日 戌 初時多し

二日 卯 初大炊助所ニ遊会遊歌

三日 辰 板倉四郎右衛門所ニ遊会遊歌のふる舞

四日 巳 初海松松後八郎三郎所より来

五日 午 いの二郎左衛門所へふる舞をこし

六日 未 雨降 小栗忠房所へ振舞を越

七日 申 雨降

八日 酉 雨降

九日 戌

十日 丁 普請出来

十一日 子 魚川益田帰ハ涼尾法十日公

十二日 丑 あい遊会

十三日 寅 ふろくを参喜

十四日 卯 竹谷備後所へ数寄をこし

十五日壬辰 今午へ系小 緒川をふり成小

十六日癸巳

十七日甲午

十八日乙未

十九日丙申

雨降 与次郎所あつめ 金左衛門所ニ夕食竹
のやへ点取連歌ニ下

廿日丁酉

廿一日戊戌

廿二日己亥

迄留りて備後所ニ朝り一泊小
と下へ系小
去次郎村まで成小連歌玄旨へ点と成爲小
中ハ 竹備後二百納 中ハ

まゝにあり月二を庭のあつりけれととくのち

の秋のさむし

廿三日庚子

廿四日辛丑

廿五日壬寅

舞いと三こゝいてあつり十番きり舞
涼尾法十雪吹と右衛門こゝい同泊
森平所ニ月次連歌とて竹岩備後と次郎うこの
原宮内務殿着介成小

各句

氷籠もみとりハふりさき草小

廿六日癸卯

雨降南風強く吹く 竹岩所あつて点取連歌
ハ酒井小兵衛過一秋中と竹山とさるハふ

てとんし今朝こいけい

廿七日 甲辰 六栗被官二人喧嘩してあいて才一人をたいて

中集い

廿八日 乙巳 涼尾法十法城い晩こ竹谷へ法越い

廿九日 丙午 秋雨降 涼尾法十法城い竹谷より法越い 晩

二 駿川普徳寺より本城石つこ崩い河原

早こいゆへい中集い

五月大

一日 丁未 午へ系い 雨降 如総大洞より法越い

二日 戊申 京都建寺又表申集い [] い中よりゆいハ知い

あまれといそん人もあき世を

ういハ之船うりりくまると老を

是ハ作手英作中集い

三日 己酉

四日 庚戌 くりや水云左惠の所よりまい鷹こいこ城い

すりうへ普情史九出い

五日 辛亥 ふうりやへつりい 善下へ系い家中

礼こ城い

六日 壬子

七日 癸丑 夜雨をりくとある

八日甲 あさ雨ちとふる宮へ雨こいの里くまんけ

い

九日乙 竹石へ点取連歌、備后所へ城い

十日丙 京へ一人とつりい同典以所、点取連歌

い 款雨降 ちりり普請こ人数計こい

十一日丁 祈禱いひりて雨降

十二日戊 空をて雨こいの連歌い

各句

玄佐

五月あはふりつこころ宮井卦

十三日己 雨こいの里くまん又けい

十四日庚 雨降 初楊梅大津より城い 竹石備后同占い

郎くくのりく空田先取へ点取連歌さく越能

十五日辛 朝と雨降 雨こいの連歌い同玄佐

各句

五月あは水り川、神乃あ

建部同日時分過て去下へりく 佐州より越

い 志ゆんのく東堂同大澤より去ゆん去や

東堂

十六日壬 昨日のあ東堂ふる舞い

十七日癸

十八日甲子 去下へり、番毒くふ多録

十九日乙丑 野田織部所より山より来、柏原務殿後助所

二点取連有る城

廿日丙午 初ふまひ夕うなりりや中崎権兵衛所より越

竹谷備後所二昨日之連有去りけり

廿一日丁未 今午信託時より二、去下へ来り後河原

君根山袋西郷殿一時の十九日之死去り中

来り野田後治助兵衛一室唯之死去り中

幡豆龍花院小笠原左衛門所より山より

来り

廿二日辰戌 竹石占り同心、西へ後法中より

付連二

廿三日巳亥 後枝初より、後府系若くは付十三郎所

万録

廿四日午未 里々七ん、本田後五所へ

来り

廿五日未申 善法出来善法流り、新板倉四郎若

所より

廿六日申土 忽河益田迄

廿七日酉癸 あり

廿八日 甲戌 未刻 地震する 津浦海城に 初きけ志由

~~~~~

廿九日 乙亥 官へ雨乞の志ゆくらんりけい 秋雨降

晦日 丙子 雨降 官まで雨乞の連歌い

費句 玄佐

このふゆやわさるれあへぬ友のあ

六月小

一日 丁丑 雨降 神ありなる 志下へりし

二日 戊戌 あさ雨降 志下へりし 関白様よとの志女房祝

言ひあ君様之 殿様七款の志ゆさへ過しそる

志下の中い

三日 己卯 晩に雨降 志下へりし 小野と午の志いもいそて

志下負の志い

四日 庚辰 殿様祝言の志中へりし 志下と志い

中來い

五日 辛巳

六日 壬午 殿様大津へ明日の志付いそて 志下と志い

い

七日 癸未 大津へ舟りそて 志下と志い 竹谷と志い 同心殿様子刻

志下舟りそて 志付いそて 志下と志い

八日甲 殿様へ関白様御二方枚金封を致し進出  
備後所へふる舞い 幸勢舞いこし大志よく己

んおひきうし二番舞い

九日乙酉 今下へ多し移度了若六下向い 玉用こ入

十日丙戌 雨乞の進路よりぬきへうけい 秋夕雨降

十一日丁亥 朝多雨降 雨乞の進路い 秋より秋夕り大雨

降

若句

玄佐

大ぬきを引手と涼しくふの雨

十二日戊子 雨降 吉田本田十助越え

十三日己丑 初こめ 朝迄雨降 竹谷金左衛門廣田こし

十四日庚寅 中島へつゝはくせて城い 晩より雨降 夕

めし永良修理所い

十五日辛卯 同日迄雨降 景ふくすふふ舞いせふりくは

備い 京都より燕取進路よりい手先燕数四句

い

十六日壬辰 夕立

十七日癸巳 夕立

十八日甲午 夕立 同新治郎所へ月次連歌とて竹石えり



のりく取越

十九日 乙未 吉田へ小年之礼、二一

廿日 丙申

廿一日 丁酉 吉下順透、ふり舞を二一以家入と云半そく

伊勢旅り、へい

廿二日 戊戌 墨崎本田作左衛門所、尚礼、城

廿三日 己亥 雨降 卯刻、大かへ 竹谷与江郎所、点取

連続、城

廿四日 庚子 雨降 竹谷逗留、晚松金左衛門所、ふり舞

とて城

廿五日 辛丑 雨降 竹谷留後所、昨日点取連続、二一

廿六日 壬寅 雨降

廿七日 癸卯 雨降 吉下惣ふり舞、

廿八日 甲辰 夕立 点取連続、竹谷取越

廿九日 乙巳 雨降

七月大

一日 丙午 吉下へり

二日 丁未 夕立

三日 戊申 夕立

四日 己酉 足助へ漆、湘、人を城





家言

五日 庚戌 くりや水取及以喧嘩の中

六日 辛亥 秋雨降 及以大雨一山城

七日 壬子 大南風吹雨降 及下り

八日 癸丑 及下東半大洞より出城

九日 甲卯 施我鬼小酒井字内大捕所より来十六日 富士

山大佛之材本引 二一以中申

十日 乙卯 及下施我鬼

十一日 丙辰 及下二り因幡守所之及熱之建部より二一

十二日 丁巳 及下隠居東中久平より出城及下り

十三日 戊午 及下り

十四日 己未 <sup>大坊</sup> 及下一系以大南風吹二又十段左側向二一

十五日 庚申 及下雨降 及下一系以大南風吹

十六日 辛酉 同熱くりの及後普請夫九計出

十七日 壬戌 富士山本引普請 及下出 竹岩与同日

心

十八日 癸亥 雨降 魚川迄二一

十九日 甲子 大雨降 駿府迄系及山城へ出仕人数ハ大

途迄先之者自分ハ出能見物一系中出意

廿日 乙丑

廿一日 丙寅 出能井付泥所以雨降 及下近以林原式部大捕位

家言 巳 第五

州真田へ沼田の城さうへへ渡りに新越川京  
都より八富田平右衛門津田四郎左衛門けん  
と新越川沼田城うけをいづ氏直上へ出仕て  
ら成り

廿二日 丁卯

廿三日 戊辰

廿四日 己巳

廿五日 庚午

廿六日 辛未

雨降

雨降

雨降

付從所にて新越川十番松風のつて天下に助一



事々  
知ら下り

廿七日 壬申

廿八日 癸酉

廿九日 甲戌

晦日 乙亥

八月 大

一日 丙子

二日 丁丑

三日 戊寅

新二郎忠孝を法けん

都立雨降 富士山本引と奥津とこり本田中

書にふる舞を越り

うの舟てこり石川五左衛門所へふる舞

てこー以上出小屋場迄こー以上本引のくー井付  
尾之中一昨日より厚作

四日 卯 己 雨降 井付尾屋普詰くーちかいて酒宮内く  
こー入

五日 辰 庚 雨降 本引ニ出ハ長サ廿五ひろ五うけハす  
あーいハてハハ

六日 巳 辛 雨降 本引ニ出ハ長サ廿五ひろ五うけハす  
雨降 本引ニ出ハ長サ廿五ひろ五うけハす

七日 午 壬 雨降 本引ニ出ハ長サ廿五ひろ五うけハす  
本引ニ出ハ長サ廿五ひろ五うけハす

八日 未 癸 雨降 本引ニ出ハ長サ廿五ひろ五うけハす  
本引ニ出ハ長サ廿五ひろ五うけハす

九日 申 甲 本引ニ出ハ雨降ニてひろよりありハ  
八十  
間斗ハてハ

十日 酉 乙 本引ニ出ハ雨降ニて弘万間斗出ハ晩、松平孫  
三郎御伊奈十左衛門少将ハ

十一日 戌 丙 本引雨降ハて延ハ

十二日 亥 丁 本引ニ出ハ雨降

十三日 子 戊 雨降 本引延引ハ

十四日 丑 己 雨降 本引延引ハ

十五日 寅 庚 去十一日、永良へ籠打ニ命本引ニ出ハ 雨降  
島田次兵へ引渡シ申

十六日 卯 本引、出、雨降、雨

十七日 辰 例、大本出、平岩七、助酒井宮内、

手、引、中、

十八日 巳 雨降、昨日大本引

十九日 午 本引

廿日 未 雨降、昨日、本、同、

引出

廿一日 申 雨降、本引

廿二日 酉 雨降、小材本、

廿三日 戌 本引、雨降、

廿四日 亥 本引

廿五日 子 雨降、山、

廿六日 丑 本、小屋場上、

廿七日 寅 小材本、

廿八日 卯 殿、振、昨日、

廿九日 辰 殿、振、甲、

先、度、平、七、

士、川、

付、

晦 日 乙 本引、

家忠  
言

九月小

一日 丙午 同本引の竹谷備後土房氣遠村に中申  
 二日 丁未 本引  
 三日 戊申 本引  
 四日 己酉 本引川へ入  
 五日 庚戌 本川より二十町斗出  
 六日 辛亥 本川より二十町斗出 鴨八郎之郎との一  
 七日 壬子 本雨降本すよりり出  
 八日 癸丑 ひる前雨降後雨して本十町斗出

九日 甲卯 本川ハあさくにて陸地を引野田佐州松尾迄

十日 乙卯 本引

十一日 丙辰 本引の平七之助所ニ初雁のふり舞

十二日 丁巳 吉原迄引とけ舟とて

十三日 戊午 本雨降 本門本崗にて大空へ向

十四日 己未 酒宮内所へふる舟とて城

十五日 庚申 小材本とり

十六日 辛酉 雨降

十七日 壬戌 門本引ニつうハ

家忠  
記  
第五

家言

十八日癸亥 同本引以甲佐之氣ハ甲州東郡ニ城普請之云

越以

十九日甲子 同本引以係科屋小屋ハ修繕ハ

廿日乙丑 同本引以

廿一日丙寅 同本引以酒宮内振舞ハ 夜雨降

廿二日丁卯 本引以 秋より雨降

廿三日辰 雨降ハ本引以

廿四日巳 雨降本引以奥平九八郎所ハ出以

廿五日庚午 本引以

廿六日辛未 本引以殿根甲州より郡内を長久保沼津ハ出

比之雨降ハ多産右衛門進上物室子振敷之云  
在りて之云

廿七日壬申 本引以

廿八日癸酉 本引以

廿九日甲戌 雨降 井付從所ハふる舞之云

十月大

一日乙亥 雨降 本引以

二日丙子 本引以 晩より雨降

三日丁丑 雨降 郭本田中書井付從所ふる舞之云夕夕一本

中書ハふる舞之云

家言

家言

家忠日記

四日戌 本引以 菅沼強部所へふ多舞之也

五日己卯 本引以

六日辰 本引以 晚より雨降

七日辛巳 本引以 雨降 西御深正所へふ多舞之也

以 晚宮内振舞也

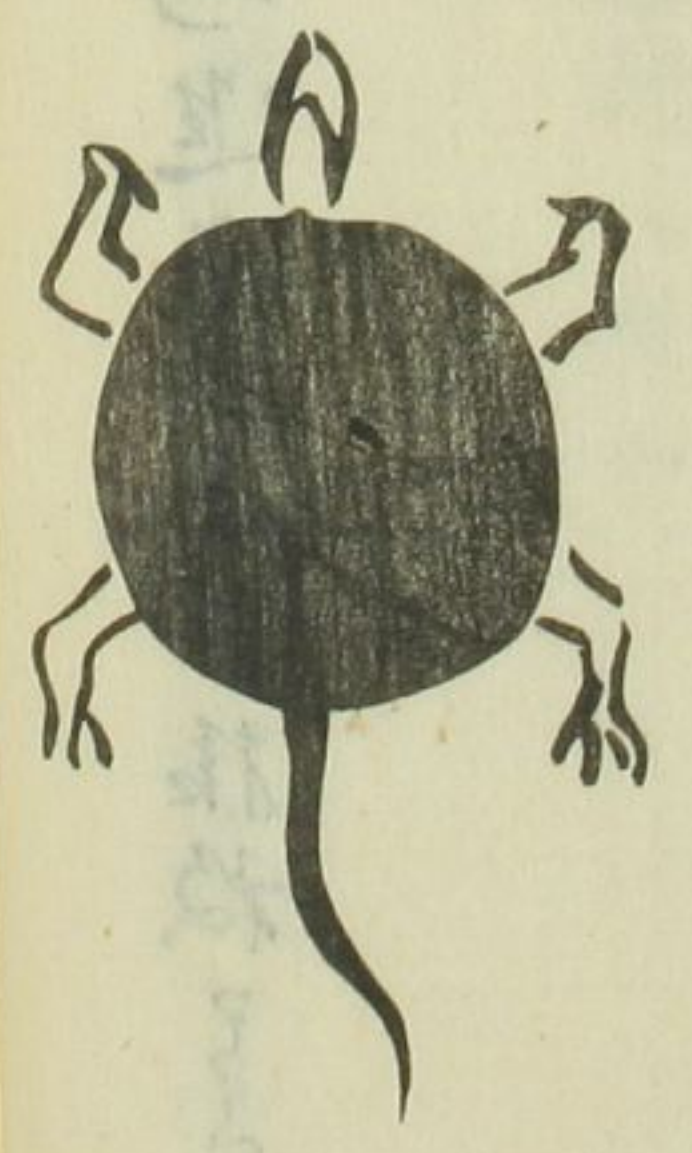
八日壬午 本引以 設楽三郎所へ振舞之也

九日癸未 本引以 松平清三郎所へ振舞之也

十日甲申 本引以

十一日乙酉 本引以

十二日丙戌 本引以



十三日丁未 本引以

十四日戊子 本引以

十五日己丑 本引宮内へ振舞之也

十六日庚寅 本引以

十七日辛卯 本引去十四日、中崎へ繩打庭江城の中へ小祭

二右末門内也

十八日壬辰 本引本田縫所へふ多舞之也

十九日癸巳 本引雨降

廿日甲午 本引以 酒宮内振舞也

廿一日乙未 本引普請奉行宮振舞也

家忠日記 第五

家忠日記 第五

廿二日 丙申 本引去十八日小災へ毘打し宿新城に中し小原

二右忠門同心

廿三日 丁酉 本引

廿四日 戊戌 本引後府より尚年中入し本引引て普請宛あり

りいへし中申来い

廿五日 己亥 本引 松原三郎所へふ多舞とて城に晩ハ後

部所へふ多舞とて城

廿六日 庚子 本引 三出い

廿七日 辛丑 本引

廿八日 壬寅 本引

廿九日 癸卯 本引本田彦次郎所へ振舞とてこい

晦 日 甲辰 本引 秋雨降

十一月 小

一日 乙巳 本引宮内へ出い小原越中所へあしい而振舞い

二日 丙午 本引戸田左門所へ振舞とて城に殿松原上洛近

日と中申来い

三日 丁未 本引さうとより信州真田城を一ツさりい留る

しとら

四日 戊申 堀勘兵衛所へふ多舞とて城に

五日 己酉 本引と出い

家忠日記 第五



家... 言...

六日 庚戌 本引出

七日 辛亥 本引出... 府中... 落着水野清...

舞

八日 壬子 足川... 殿... 八田中...

九日 癸丑 あい... 迄...

十日 甲子 ふう... へ...

十一日 乙卯 去下...

十二日 丙辰

十三日 丁巳 酒若五左衛門...

十四日 戊午 竹石全保齋...

おの 夜雨降

十五日 己未 喜下へ...

十六日 庚申 修理所...

うせ...

十七日 辛酉 朝権兵衛...

本...

十八日 壬戌 内新...

十九日 癸亥

廿日 甲子

廿一日 乙丑 東...

家... 記...

家忠日記

多舞子てこい

廿二日 丙 竹谷次郎新城

廿三日 丁 雨降

廿四日 辰

廿五日 巳 ちやくまも水物類同崎文悦城

廿六日 午 竹全保へ数寄りて城

廿七日 未 駿河より深尾清十永良へ通

廿八日 申

永良へあまひりせこい 大雪ふる程四本  
附るとりい 京都より富田平右衛門津田四郎

左衛門為成役とていお物先度上野沼田城出仕

いりんとて詰り出仕延引い由関白様取立

てそ月中出仕いお成敗うまい出役いお

州より使この布りい石より越前此方とてあ

成敗うまい此中嘆中い明王院もて物とてあ

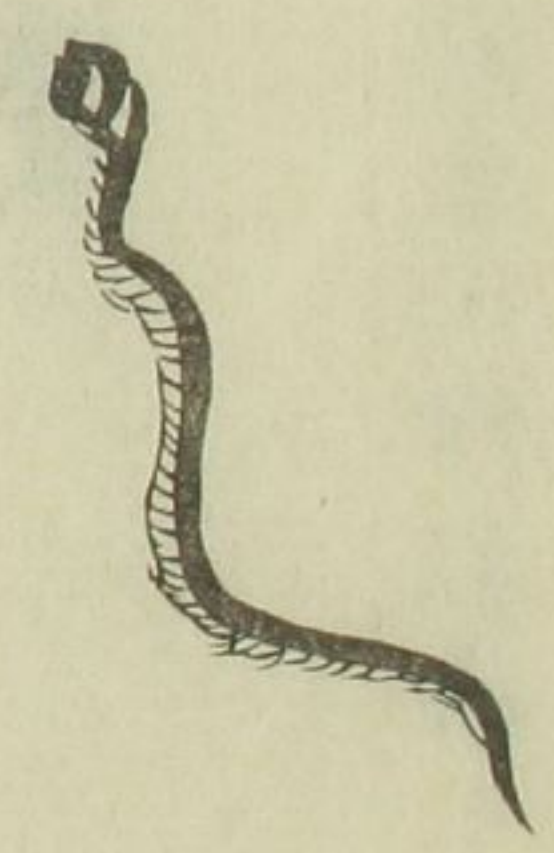
十二月大

一日 甲 程ひりせい程八十本附るりい

二日 乙 殿振上流今日畷崎迄流法い中にて畷

城い明い中い 小りん入

家忠日記 第五



家忠  
言

三日 丙子 殿松吉田より園へ出越

四日 丁丑 城へ出仕の知り方繩打うけあ

五日 戊子 殿松所上落のふりくを物

六日 己卯 喜下へ系

七日 庚辰 棟別子貫の百七十表の取とりは屋敷のうけ

いて

八日 辛巳 後府板倉四郎右衛門兵衛の高野聖に城

九日 壬午 雨降 行方与次郎と城の同与五左衛門所の不

る舞い

十日 癸未 雨降 四郎右衛門

十一日 甲申 雨降

十二日 乙酉

十三日 丙戌

雨ちとらるる 繩打と法負神屋孫五郎所  
へ忍路こゝの酒井字内より京りの出方にお

州の陣の予中某の関白振の明三月朔日尾物大

府振の二月五日家康松の正月廿八日出出る

中井野次郎九忠の城

あま雨降 二郎左より舞衣平所

喜下へり

十四日 丁未  
十五日 戊子  
十六日 己丑 中略へあまひりせの城のこい部十本附二百枚

家忠  
第五

家恩  
言

殿極京前より西尾へ下る中

十七日 庚子

こまきへ治兵一所へ城に殿極園崎へ城

中にて園へ二一城へ出仕にてふりて物

十八日 辛卯

大うんへ入 殿極吉田迄所内

十九日 壬辰

永良へあひひうせに城に鯉二十五本ふるふ

りてへ物

廿日 癸巳

竹谷よりへふりて城

廿一日 甲午

鴨居ハ節之節ふへ當年之礼に城に隠入院へ

りて返

廿三日 丙申

晩竹谷全係に務振舞にふりて物

廿四日 丁酉

廿五日 戊戌

廿六日 己亥

竹全係数家にて城

廿七日 庚子

竹谷江頭に城

廿八日 辛丑

廿九日 壬寅

晦日 癸卯

天正十八庚子年正月小 小年廿六

家恩  
言  
第五

一日 甲辰 家中礼之、城下へ行く

二日 乙巳 後府節分礼之、史丸ヲ越へハ後府より近日

此陣可有之由申来史丸留之、つうりー延引之事

三日 丙午 立春

四日 丁未 吉下東重所時申、家中出家礼之、城下吉田

官内より去三日、後府若君根上流ハ五日、

園崎所つきの乗馬系初迄二上りーハ申来ハ

五日 戊申 雨降

六日 己酉 ぐせん茶ハ左郎右出のひとりハ

七日 庚戌 若君根上流ハ園崎城ハ今度ハ上流ハ関白

根尾州信雄所むその子所養子所成若君根と此  
祝言法作合ハ

八日 辛亥 園崎所迄留ハ

九日 壬子 くりや水云左より初らちら所城ハ若君根とヤ

子々所越送り、かさき市場より、ふうと此

物ハ

十日 癸丑 卯刻、地震ハ 雨降

十一日 甲子 南城坊 祈禱ハ竹谷堂左出の礼、城下

十二日 乙卯

十三日 丙辰 例年ハ連歌ハ地震ハ之 玄佐

杉之野木のめきしる路外

十四日丁巳 小坂より多條へ越え竹尾宗將廣田礼のこゝに

十五日戊午 官へ参りて下りて参りてせん原に休一ひより

十六日己未

十七日庚申 朝雪雨に成り

十八日辛酉

十九日壬戌 殿板来十九日中夜へ宿屋に諸知行方亥年より五

十分一馬过越へて中夜来り

廿日癸亥

廿一日甲子 去下東巻板付より越え吉田より来二月朔日

東筋出陣へて中夜来り吉田本田十助殿に

越え

廿二日乙丑 知行方勘定に



廿三日丙寅 雨降 遠州知行り中夜に而新成あゝの由書

もちりて下り中にて友人下り

廿五日戊辰 若君板来都より下り

廿六日己巳

廿七日庚午 去下出総にふる舞を越え小笠越中夜より音

肥第五

信使と城

廿八日 辛未

廿九日 壬申

二月六日

一日 癸酉

雨降、之出陣、延、下、之、

二日 甲戌

あ、い、迄、出陣、行、与、同、心、

三日 乙亥

雨降、足付、迄、出陣、中、泉、小、泉、二、右、衛、門、伊、东、熊、

藏、所、へ、礼、之、城、知、方、五、十、分、一、之、出、目、と、下、

四日 丙子

夜、雨、降、後、付、迄、泉、若、い、城、へ、八、暮、過、て、出、仕、ハ、寸、

夜雨降

五日 丁丑

雨降、朝、倉、板、倉、四、郎、右、衛、門、所、之、多、舞、と、城、

以、晚、之、出、仕、江、尻、迄、迄、出、陣、へ、之、由、出、意、

六日 戊寅

雨降、之、殿、振、出、与、迄、

七日 己卯

江、尻、妙、泉、之、法、花、之、迄、出、陣、酒、井、官、内、大、捕、所、へ、

陣、中、り、之、城、

八日 庚辰

中、泉、より、知、方、方、へ、地、之、聖、羽、切、山、漸、い、之、城、

以、雨降

九日 辛巳

十日 壬午

殿、振、出、迄、出、与、以、由、い、迄、陣、始、

十一日 未 雨降

十二日 申 晚、雨降

十三日 酉 酒宮内へ陣まはり城に吉良法

茶屋にありて各國人敵城にすはる

人敵城に材本よりてつりてつりて

十四日 戌 雨降 酒宮内より我等人数城に留り吉原へ

陣越へて空に来り

十五日 亥 吉原へ陣越に旗本より成瀬小吉源尾法十着到

付、城に

十六日 子 酒茶屋に本より舟橋の舟を其あてり後沼後ア

西郷浮正ふ多舞に

十七日 丑 舟橋の普請に

十八日 寅 舟橋の普請に

十九日 卯 同普請に

廿日 辰 雨降 同

廿一日 巳 舟橋出来し内府振後府迄所着に申に

廿二日 出茶屋に普請に晚より夜迄雨降りなる 三

州より右忠切山石姓難濃中に申て城に

廿三日 未 大西吹出茶屋地形引に

廿四日 申 出茶屋普請に 家康振長久保へ申出り尾州





元先坊沿津迄之表也

廿五日丁酉 内府振沿津迄出馬也 晚雨降

廿六日戊戌 所祭屋之普請出来也

廿七日己亥

廿八日庚子 美濃京通也 晚二雨降

廿九日辛丑

晦日壬子 又所祭屋之普請也

三月小

一日癸卯 所祭屋之普請出来也

二日甲辰 所々々原迄陣詰也

三日乙巳 陣屋ヶけの三好中納言殿沿津迄系陣也

四日丙午 雨降

五日丁未 殿振所陣場普請也

六日戊申

七日己酉 雨降

八日庚戌 雨降 明後日十日ニあら山表ニ出立了也

所々進也

九日辛亥 所扶持三州みへ出也 款より雨降

十日壬子 所りや所水野之左衛門同四郎右衛門迄陣也

十一日癸丑 雨降



家史年言

十二日 甲子

十三日 乙卯

十四日 丙辰

十五日 丁巳

十六日 戊午

十七日 己未

雨降 奥平九郎所之城に京都松林と中基う

古城にて基見物也

雨降 関白松来十六日之吉原迄雨成りて吉

原出陣居りけりこころ也

出陣居りけり云々原までかゝりけり又山

の多十五とりの

出陣居りてゆきそより原よりけり

関白松去十日之吉田迄雨成りは地二十三日迄

御迄留り申す

十八日 庚申

十九日 辛酉

二十日 壬戌

廿一日 癸亥

廿二日 甲子

廿三日 乙丑

材木ありけり関白松田中迄雨成り申す

関白松今日後府迄雨成り申す戸田三郎右衛門

正に石風呂こ入いりけり出陣居すくまけり

とて又ありけり

雨降 吉原小屋普請に人数つらハハハハ関白松

後府迄雨成りて殿松出こころ也

雨降

殿松出物也

関白松清見迄雨成り申す天祚山まで

材木引けり萩より雨降

家史年言

廿四日 丙 大雨降 同材木引い戸田左門より出る

廿五日 丁卯

廿六日 戊辰 開白根よりいさな成い

廿七日 己巳 開白根沿津より成い見物に成い

廿八日 庚午 山中筋物見開白根沿津より長久保城へ成い

廿九日 辛未 山中筋よりいさな成い山中城中納言殿の

りらつし

四月小

一日 壬申 雨降 二里石とをいし長久保山をふり陣をい

二日 癸酉 二里石とをいし

三日 甲戌 小田原迄をいし

四日 乙亥 城ちうく陣をい 晩雨降

五日 丙子

六日 丁丑 五出道具取い

七日 戊寅 晩より雨降 五出普請いへハ成い

八日 己卯 雨降

九日 庚辰 城近くをいし 雨降

十日 辛巳 堀普請い

十一日 壬午 城鉄炮たけとりし

十二日 癸未 普請い

家言

十三日 甲申 同普法

十四日 乙酉 雨降 同普法

十五日 丙戌 同普法 関白根殿振出陣所出見舞

十六日 丁亥 同普法

十七日 戊子 同普法

十八日 己丑 同普法

十九日 庚寅 同普法

廿日 辛卯 同普法

廿一日 壬辰 同普法

廿二日 癸巳 同普法 出来 関东城 味方 系 中 戸田

三郎右衛門 江戸へ 城

廿三日 甲午 雨降

廿四日 乙未 又普法

廿五日 丙申 同普法

廿六日 丁酉 同普法 也 本 関东筋 浅野 正三川

家康 振出 三 働

廿七日 戊戌 材木 取

廿八日 己亥 材木 取

廿九日 庚子

五月 大

家言 巳 第五

手

家言

一日 辛丑

二日 壬子

普請の酒井官内大捕所へふる  
舞はてこゝの晩、小性流振舞

ハ

三日 癸卯

同普請ハ

四日

同普請ハ

五日 乙巳

城へ出仕ハ上方陣五尺物こゝハ

六日 丙午

た、本留新ありハ晩より雨降小性流振舞ハ

七日 丁未

雨降

八日 戊申

新丸元ハ



九日 己酉

小口番こゝハ

十日 庚戌

大田新丸元ハ

十一日 辛亥

又普請ハ

十二日 壬子

陣場ハハリハて小巻かけハ新丸元ハ

十三日 癸丑

大田新丸元ハ

十四日 甲子

大田新丸元ハ

十五日 乙卯

晩より雨降 中土倉へ陣巻ありハ

十六日 丙辰

雨降 小口番こゝハ

十七日 丁丑

雨降 番ありハ

十八日 戊午

酒倉内地城元ハ

家言 第五

十九日 己未

廿日 庚申 小口番二城ハ

廿一日 辛酉 曇りハリハ 粗雨降

廿二日 壬戌 夜雨降 本田中書平岩七ノ助多居彦右忠門武

州岩付城せぬハ三川氣少そハ

廿三日 癸亥 雨降

廿四日 甲子 雨降 ゆき多仕中ハ小口番二二ハ

廿五日 乙丑 夜雨降

廿六日 丙寅 大雨降 三州并石全係死去ハ中中來ハ

廿七日 丁卯 小口番二二ハ

廿八日 戊辰 雨降 三州より水野之左衛門同宗兵來中ハ

了ハてうりやあハハ氣ふハハ其城ハ中ハ

廿九日 己巳 粗雨降

晦日 庚午 雨降 小口番二人ハ成ハ

六月 小

一日 辛未 雨降 小口番二城ハ

二日 壬申 雨降

三日 癸酉 雨降

四日 甲戌 粗雨降 初お申ハ天胆法兵ハ同ハより二ハ

夏平九ハ乃所ハ上方 去ハハハハハハハ

家尾言

見物こころい

五日 夜雨降 敵陣より和田三浦家中と上下百五十

人持口火うけいて二番と番とのさ

六日 本田佐州より初みりこころい

七日 小口番こころい

八日 宿中より小若井ぬま人をさうめいへハ小性流

九日 のものうそを事成

十日

十一日

十二日 雨降 小口番こころい

十三日

十四日

十五日

十六日

下総より友傳こころい城中ニ和田潤儀いへ其才  
返忠いてちかいは和田成敗あいは

十七日 晩夕立

十八日 小口番こころい

十九日

廿日

國より近日と申ハ城中に潤儀と申ハ夜をう



第五

ら宜是まで待た

廿一日 卯 殿振より初こめ落す

廿二日 辰 夜雨降 井付迄敵丸のりくつし

廿三日 巳 夜雨降 出合す

廿四日 午 むくくちし 小口番より八王子の城責崩し申

注進す 奥國より松平玄蕃見舞ふ城す

廿五日 未 松玄ふる舞す

廿六日 申 開白根石くけの所城へ出くつりし徳陣を亥刻

に鉄炮そろへす

廿七日 酉 中間より落す

廿八日 戌

廿九日 亥

七月大

一日 子 雨降 小口番より城の中留守より落す

二日 丑 中間より落す

三日 寅 各事沙汰し城普請す

四日 卯 雨降 小口番より城より氏直内府振内元羽隊下総

五日 辰 陣所へ走入り成りし開白根へ出候す

六日 巳 城中へ開白根小性京部人此方より八柳原武部



大輔城うけとりこされ

七日 丙午 城中開東宮塔を造り出

八日 丁未 地下人出

九日 戊申 地下人出

十日 己酉 殿松城へ造り入り城中見物こ

十一日 庚戌 氏政同中奥州へ腹を造りせ

十二日 辛亥 氏直ハ高野へつゝハされり中ハ馬あ

十三日 壬子 開白根城中へ造り

十四日 癸丑 ちんま

十五日 甲子

十六日 乙卯 江戸表へ立り柳高造こり開白根ハあハ

十七日 丙辰 へ造り

十八日 丁巳 江戸へつぎ

十九日 戊午 夕立

廿日 己未 雨降 明日三州へ帰るへ中意ハ

廿一日 庚申 女子引越の事ハ開白根ハおくへ

廿二日 辛酉 小田原陣場迄城ハ城見物ハ氏直高野へ

廿三日 壬戌

廿四日 癸亥

家言

のわりの中

廿三日 戌 腹中煩いて遠るはも二程よりい 雨降

廿四日 亥 奥國まで遠い

廿五日 子 朝雨降 駿府迄こい

廿六日 丑 腹中煩いて遠る

廿七日 寅 夜より雨降

廿八日 卯 朝雨降

廿九日 辰 雨降 夜大風大雨よりはる 豊後の原より開

三十日 巳 白根池見舞い通い

晦日 己 雨降 風ふい

八月大

一日 庚 煩いして後枝と出い

二日 辛 大井川出いて遠る

三日 壬 雨降 井籠川を越いて魚河益田こい

四日 癸 朝と雨降 あい迄こい

五日 甲 朝雨降 ふうと先登るは妻子計成いさうい

てあい

六日 乙 朝雨降

七日 丙 曇下へ来い

八日 丁 朝雨降 江戸より川越城 此作付い中來い代

家言 巳 第五

里

物百貫出り一園崎へ五つり

九日 戊

十日 己

十一日 庚

十二日 辛

十三日 壬

十四日 癸

十五日 甲

十六日 乙



雨降 暮下へ振舞とて城に朝う由照法  
法楽連歌いいハ九月終にハ関東へ  
一ハ百五城にて仕

毎年筆の發句

家系

十七日 丙

十八日 丁

十九日 戊

廿日 己

廿一日 庚

廿二日 辛

雨降 函新義七年念一ハ五左衛門  
て朝う由照法  
雨降 関東へあまい迄  
雨降 つけ迄  
ふち枝迄  
雨降 府中へりり江尾迄  
ひらと雨降 一ハ一ハ興國  
ハ女也廿日ハ小田原へ

家忠日記

廿三日 壬辰 小田原迄こり

廿四日 巳亥 江戸へ舟渡迄出

廿五日 午甲 雨降りぬ川迄こり

廿六日 未乙 雨降 江戸迄こり 煩しそ仕こハふ出

の城へ御付比中源庵法十郎此役よりうり  
〜に中此迄

廿七日 申丙 大雨降りて迄

廿八日 酉丁 岩付を所迄こり

廿九日 戌戊 雨降りて城へ松平周防より城へけ

晦日 亥己 雨降

九月大



一日 庚子 雨降

二日 辛丑 雨降

三日 壬寅

四日 癸卯

五日 甲辰 雨降

六日 乙巳 雨降

七日 丙午 雨降

八日 丁未 雨降

九日 戊申 雁をてつりあそらちい老



家忠日記

家世  
言

らめりて江戸へつらりい

十日 己酉

十一日 庚戌

十二日 辛亥

三州迄之誠以知り書出き方貫給

務りて江戸より此方へ誠以而えりつけあ

けい

十三日 壬子

十四日 癸丑

十五日 甲寅

十六日 乙卯

十七日 丙辰

雨降

江戸へ九七郎つらりい

雨降 雨ふく松子由宿と家分をさ

十八日 丁巳

雨降 成田下總所より音信楊着大す一對

き急の重る一

十九日 戊午

大雨降

廿日 己未

雨降 又鉄炮みて務りちい者よりつけあけ

い

廿一日 庚申

雨降 沼津宿福しれい

廿二日 辛酉

成田迄連絡士了意礼に誠以人丸の給ちやせ

九沼津宿松山へ通いて支出いり回と兵へ

廿三日 壬戌

江戸へこい九七郎帰ふ十三郎同心い称こ也  
法度以下付い申す来い

家世  
己第  
五

家志 言

廿四日 上方常陸成宿ふる舞い

廿五日 浅野深正成ふる舞い

廿六日 橋普信いせいせんしふる舞い小田原より人二

廿七日 小田原より人二

し

廿八日 小田原より人二

廿九日 雨降

晦日

十月 小

一日 庚午

二日 雨降 巳刻に地震

三日 雨降

四日 夜雨降

五日 雨降

六日 鶴成後三泊方上不成てら成い

七日 江戸一人とこい

八日 小笠原孫六成いし意成いて夜連

九日 秋に 散句

時雨を八月とけし山とけ



家志 第五

家忠言

十日 卯 己 朝迄雨降

十一日 辰 庚

十二日 巳 辛

十三日 午 壬

雨降 上方雨少く  
松子田雨少く

十四日 未 癸

十五日 申 甲

十六日 酉 乙

十七日 戌 丙

十八日 亥 丁

雨降 日九七郎所へ多舞て城に 雨刻地震

夜地震

水鷹屋如沙十間、他に

十九日 子 戊 雨降

廿日 丑 己

身類能知行分以

五百石 森平

四百石 七五九

四百石 源十

四百石 十郎左衛門

四百石 新二郎

四百石 九七

三百石 半左衛門

四百五十石 久助

四百石 五水

廿一日 卯 庚 辰巳間、大かへ

廿二日 辰 辛 小田原へ女共むらひこり

廿三日 巳 壬 朝大雨降

廿四日 午 癸

家忠言 第五



家  
言

廿五日 甲午

廿六日 乙未

廿七日 丙申

廿八日 丁酉

廿九日 戊戌

十一月大

一日 己亥

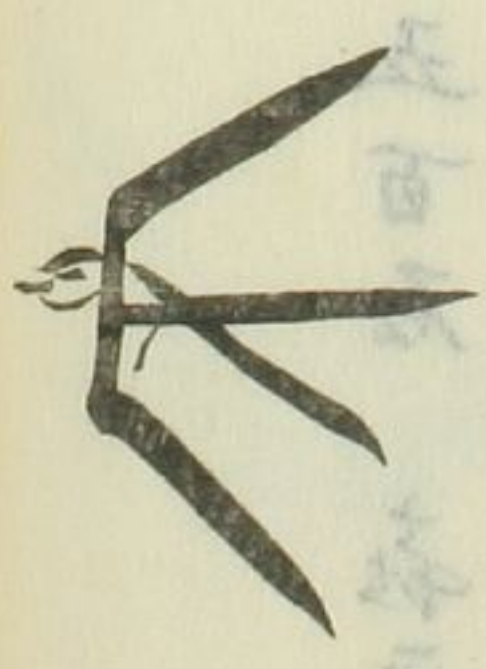
二日 庚子

三日 辛丑

四日 壬寅

晩より夜半迄雨降

小田原より女子こゝり



五日 癸卯

六日 甲辰

七日 乙巳

八日 丙午

九日 丁未

十日 戊申

十一日 己酉

十二日 庚戌

十三日 辛亥

秋雨降

初迄雨降 夜地震

沼部大炊助と戦い

初雪ふる連歌

雪小宿ふりてハ清りれ雪の友



正傳

家  
言  
已  
第  
五



家  
言

十四日 壬子

十五日 癸丑

十六日 甲寅

十七日 乙卯

十八日 丙辰

十九日 丁巳

廿日 戊午

廿一日 己未

廿二日 庚申

廿三日 辛酉

忠流よりゆき 申刻に地震い

小雨ふち 三州より休一彦次よりい

江戸へ九七番兵糧事につりりい

辰刻に地震い

廿四日 壬戌

廿五日 癸亥

廿六日 甲子

廿七日 乙丑

廿八日 丙寅

廿九日 丁卯

晦日 戊辰

十二月小

一日 己巳 夜雪降

いそれより九七江戸よりい  
夏忠連歌い  
くれ羽よりあやもあしき松のうけ



蘇  
記  
第  
五

景

家忠日記  
訂録五

二日庚午

二日辛未

りりや水野左八郎年内尚化  
さるるい由そ  
及以度同心

四日壬申

五日癸酉

江戸へ城以野田こ為以  
救雨降 江戸へこい城出以へハ  
候様あ  
くいて帰以

六日甲戌

同日迄雨降 奥州一子か  
りて子こ出言以  
由以我おハさの由留居以

七日乙亥

八日丙子

右出ハのこいにてさへ帰以  
さへ帰以

九日丁丑

十日戊戌

十一日己卯

おふく松倉ふ多舞以  
右風呂さて右出ハ江戸より  
へりハ殿様  
を白以表出さ野て水こ  
さるい中ハ皆川  
まて所兵糧干俵取以

馬馬屋作以

十二日庚辰

十三日辛巳

十四日壬午

十五日癸未

富長三右衛門所  
あ多舞以城以江戸より多  
見九左衛門駐城以

家忠日記  
訂録五

家忠日記第五

十六日 甲申 雪降

十七日 乙酉

十八日 丙戌

十九日 丁亥

神谷小左衛門伊熊よりめりかくるに我等知行  
上川上迄入られり



廿日 戊子

廿一日 己丑

廿二日 庚寅

廿三日 辛卯

廿四日 壬辰

伊熊茂長野上こりてあいここりり  
晩に修理所へふり舞子て城の美くいのけり  
南谷輝加年居大和尚

廿五日 癸巳

廿六日 甲午

同新次郎所へ連歌ありふり舞子  
若句 家忠

朝風よりくぬ雪は柳か

廿七日 乙未

廿八日 丙申

廿九日 丁酉

天正十九年辛卯正月大 小年廿七

一日 戊戌 家中存沼津氣之礼に成候沼津氣之礼にこりり

家忠日記第五

家... 言...

二日己 身軀高ふる舞い

三日庚子 雨降るせんちやい小野田右右束門火とる

四日辛丑 僧高礼にこふれい

五日壬寅

六日癸卯 大風吹稲吉主水家火事い辰辰岩付へ昨五日、

七日甲辰 法立城い中十三郎所より中來い

七日甲辰 伊熊同心ふる舞い松平玄蕃父子岩付へ人とこ

い江戸へ出仕に城い越え熊谷正統い人さる

ういい

八日乙巳 朝より雪、成い開白根より奥州表へ出働いへ

之申いて辰辰十一日、こり遠近出する申い

松平玄蕃父子為免舞とて城い成刻地震い

歎ハ雨

九日丙午 玄蕃より御い大坂より福松辰江戸へ出向とて為

出音信同辰辰こい

十日丁未 上方人数先勢志子川小田原迄こい

十一日 右束門ハ出兵糧之儀、江戸へこい奥州各中

二成い申して浅野深正辰辰而此陣申い

十二日己酉 辰辰出する申いて岩付小江戸へ明日出向い申

いふく松辰辰ふる舞い

蘇忠田 己第五

十三日庚戌 毎年逢ふに陣之沙汰にてやめ

十四日辛亥 中納言殿武州府中迄出陣に及指江戸より出

越の中

十五日壬子 詔ヲ大炊助ら城に二のろろを風呂屋之火事出

来に江戸より飛脚城に三州より人数二一才

取兵糧ら下の中傳と書とてとり二城に

十六日癸丑 三州二連本全之院ら城に

十七日甲子 全之院朝り由出総ら由取振舞に

十八日乙卯 伊勢院同心ふ多舞に之を林林原武部大捕所へ

多信に

十九日丙辰 殿振来廿一日、此上洛に由中來に

廿日丁巳

廿一日戊午 点名連舞に

廿二日己未 松平圖書所へふ多舞を城、江戸より殿振出

上洛迄のふ子に仕にへに申中來に

廿三日庚申 江戸へこしに

廿四日辛酉 江戸へこしに大門迄

廿五日壬戌 城へ仕に福松根へうけの言進上は

廿六日癸亥 家中礼にあふきいううハの宿迄御に上洛

来に日中へのひの中

廿七日 甲子 一へつ

廿八日 乙丑 兵衛連款了意より合島までこしは松井八右衛門

門所より油先ら城に

散勺

家忠

吉柳の軒端や露の玉の塵

廿九日 丙午 本田十助うまいよりら城へきやけさう十おさ

るふへいとまきの右刀つゝのうり

晦日 丁卯

壬正月小

一日 戊辰 雨雪ふる

二日 己巳 成田下総よりきりきり音信に

三日 庚午 水ふく松永あふ霧の中相新八より鯉二ら城に

本田十助ら備へり山さぬ二端出に

四日 辛未

五日 壬申 殿根三日、水上落し申に

六日 癸酉 内藤四郎左衛門見舞、城へくるさうふ 夜

雨降

七日 甲戌 朝多降 夕酒井善五左衛門ふくあふ舞に

八日 乙亥 江戸より深尾温十郎ら城に 水兵糧と足あ

九日 丙子

瀧山支那州中郡うつきを先夜に引合四  
千五を表臨いりけりまけの事もと之に

十日 丑丁

三浦右衛門八所ふろ舞に

十一日 戌

夜大雨降 虫総々すのうて明星待に

十二日 卯巳

海尾殿ら御に江戸出度御座る五十計にてら紙

小原忠義殿は四郎大将とてに

十三日 辰庚

十四日 辛巳

晩雨降 出右筆等通ら紙に

十五日 壬午

大雪ふりに

十六日 癸未

雪通ら紙に

十七日 甲申

鷹飼所ら御に石川五左衛門ら紙、小忠義は

うつきをさす十子いさす廿あはる四子ハすめ内

つささす十頃後小はりてますん本村はさ

了廿出に忠義殿の務一に紙に

十八日 酉

夕ゆ、家中無へ鷹の務ふろ舞に

十九日 戌丙

初大炊助ら紙に

廿日 丁亥

伊勢あつけ物、舟の事と京へ覚た飛脚にこ

に侍氣三川へこしに

廿一日 戌子

瀧山より兵糧さうりり、寄五にうちうき林に

やい火に

廿二日己 下総粉屋ハ郎三郎所より音信ハ皆川より兵糧

三万ノ代物六十ト城ハ

廿三日庚 家中京へ移のふ多舞ハ初大炊助ら城ハ夜雨降

廿四日卯 江戸より十三郎城

廿五日壬辰

廿六日癸巳 伊奈熊野忍頓竿打ニ熊野正三ハ音信ハ

廿七日甲午

廿八日乙未 熊野正三谷へこしハ

廿九日丙申 夜雨 善くちのりりハ

二月大

一日丁酉 夜雨

二日戊戌 雨ふく松さ由飛ふる舞ハ

三日己亥 ひりんハ入ハ

四日庚子 宵ニ雨降 雨ハのやい

五日辛丑 朝迄雨降

六日壬子 辰振ハ開白松清次、為内鷹野トシテ

清次トモ見合ハやく々ハ冬ハ江戸方トモ又

由國勢由沙汰ハ開白振より鷹飼小栗右衛門

の内小人九左衛門ハこハ

七日癸卯 雨降 雨ふく松さ由飛ふる舞ハ



八日 甲辰

清暑すここいけ指代百足 今籠了意同心い

夜雨降

十日 丙午

雨降

十一日 丁未

小笠原孫六たてまやいよりら城い

十二日 戊申

雨降 小孫あふ舞い成四下孫ふより音信、丸

田よりけら城い

十三日 己酉

小孫忠統へあふ舞いる降晚より雪、成大雪ふ

十四日 庚戌

雨降

十五日 辛亥

朝より雨降 松平越中 新城

十六日 壬子

雨降

十七日 癸丑

朝迄雨降

十八日 甲寅

こもと辰雨こい晚より少煩いこのをあら

い

十九日 乙卯

煩い悪くせいのい

廿日 丙辰

煩い

廿一日 丁巳

夜より雨降

廿二日 戊午

雨降 煩いあくる森ハより唐のうろく 新城い

廿三日 己未

廿四日 庚申

廿五日 辛酉

廿六日 壬戌

廿七日 癸亥

廿八日 甲子

廿九日 乙丑

晦日 丙寅

三月小

初一日 丁卯

初二日 戊辰

初三日 己巳

初四日 庚午

初五日 辛未

初六日 壬申

初七日 癸酉

初八日 甲戌

初九日 乙亥

初十日 丙子

十一日 丁丑

十二日 戊寅

十三日 己卯

十四日 庚辰

十五日 辛巳

十六日 壬午

十七日 癸未

十八日 甲申

十九日 乙酉

成刻より雨降

朝迄雨降

一富士右ふこい

一院能い中の晩、きやう田筋、火車出来い

一五時排詰ふ多舞うけい

二日辰 軟雨降 同九七江戸へ福松根の白くは礼こ

二い

三日己 軟雨降

四日庚 同日雨降 三州より家中去あよハこい

城い

五日辛 三州より内京あよハこい

六日壬 詭譎ふ多舞い熊居西堤五十唱つさい九七江戸

より帰る殿根去三日京教り出い中い

七日癸 夜地震さる

八日 甲戌 比るより雨降

九日 乙亥 雨降

十日 丙子

十一日 丁丑

十二日 戊寅 午刻より雨降

十三日 己卯 朝迄雨降伊熊義熊右よりこゝして忠孫より教

まかすい

十四日 庚辰 松井八左衛門おと熊義ふるおの三州より宇野

十五日 辛巳 忠孫の時儀ふる舞をこゝし



十六日 壬午 雨降 初時より 小笠原三九郎夜三郎左衛門ふ

り舞い

十七日 癸未 伊奈熊義おより知行方書出幸方貫こゝし但殿

板下向迄ハあつけ成い

十八日 甲申 雨降 知行所礼ニ熊義お一人とこゝし雨刻城

へぬ其人おい入いものうらめい

十九日 乙酉 雨降 城といそん一木もこゝらひい

廿日 丙戌

廿一日 丁亥 新二郎所にて泰平十七年の所心さし

廿二日 戊子

廿三日 己丑 一昨晚江戸へ殿振京船より西下向し中申来り

廿四日 庚子 江戸へ丈丸出り

廿五日 辛卯 江戸へ日ヶ付城に城へ出て出ぬ、うぐりり

廿六日 壬辰 新板倉四郎右衛門所へふろ舞の夕水野流六所

ふろ舞

廿七日 癸巳 うぐりり、江戸右衛門ハ知り方よりこのころ至

り

廿八日 甲午 雨降、江戸に

廿九日 乙未 卯辰、各地表に

四月 小

一日 丙申

二日 丁酉 雨降、小田原へ道具より、城に同と五右衛門

江戸へ城に高野聖城にせかり、江戸の所著

請き万貫五人、城にへ、由普請奉行より中

来り、同十郎左衛門、御多子死去、大原修理母も

きたり

三日 戊戌

四日 己巳 焼物相合に

五日 庚子 江戸へ普請京五人つう、江戸殿振、所著、我

我よりつう、い、そ、南化、麦ふ、ち、り、中、に、阿

都若八きへられゆて中分ニ原田合左衛門  
一以公事すてい

六日 丑 江戸より五左衛門八幡に知行う未だ  
以晚より雨降氷翌辰八幡橋へ出以事向て

七日 子

八日 癸卯

九日 甲辰

十日 乙巳

十一日 丙午

小田原より及具来以江戸より合左衛門  
知行

水着八月上儀



也一柳式部所へ同九七ヲつり

十二日 丁未 右衛門八江戸へ知行方儀ニつり

さて林分

十三日 戊申 朝あし然然以着八儀大方濟以同五左江

戸知行事

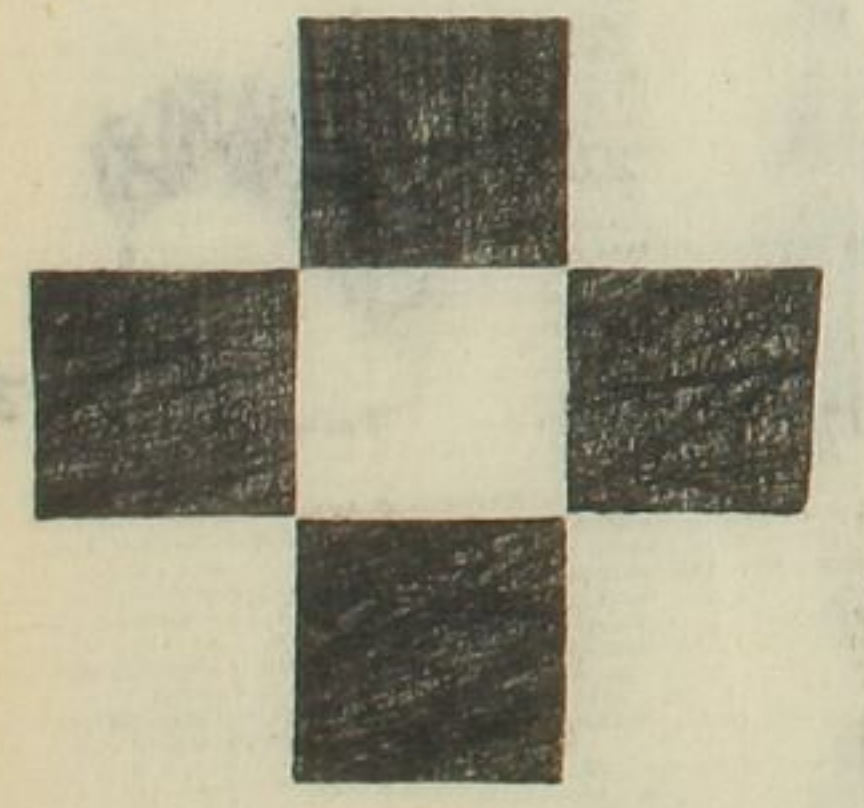
十四日 己酉 風呂焼以夜雨降

十五日 庚戌 雨降 然然者僧多舞以

十六日 辛亥 雨降

十七日 壬子 雨降

十八日 癸丑 大雨降



家... 言...

十九日 甲子

廿日 乙丑

廿一日 丙寅 雨

廿二日 丁巳 梅雨 暮止 夕立 以 福松 出局 上 法 鏡 房 子 末 代

物 部 子 走

廿三日 戊午 志 伊 世 凡 十 七 年 忌 以

廿四日 己未 雨 降

廿五日 庚申 同 与 五 右 忠 門 右 忠 門 八 以 戸 子 功 以 知 以 方 未

お 宅 以

廿六日 辛酉

廿七日 壬戌 臨 大 炊 助 以 誠 以  
廿八日 癸亥 忍 強 之 弱 子 伊 子 大 炊 助 以 誠 以 雨 降  
廿九日 甲子

五月 大

一日 乙丑 雨 不 久 松 家 礼 以 誠 以

二日 丙寅

三日 丁卯

四日 戊辰 夜 雨 降 江 戸 へ 知 以 儀 之 原 田 内 記 二 一 以 子

一 寺 一 酒 井 平 右 忠 門 誠 以

五日 己巳 雨 不 久 松 家 礼 以 誠 以

藏 記 第 五

空



六日庚午 富長三右衛門所へ礼に紙に雨降十三日紙に妹

ちいその給大炊助女房宿紙に

七日辛未 雨降 源了心さし紙地震さる

八日壬申 夕雨降 内記江戸より物に

九日癸酉 霜雨降

十日甲戌 雨降

十一日乙亥 ちいその女房宿紙に

十二日丙子

十三日丁丑 雨降

十四日戊寅 江戸より開八州に能楽長先



紙に雨降十三日紙に妹  
ちいその給大炊助女房宿紙に  
内記江戸より物に

紙に

十五日己卯 午刻に地震に紙に能楽江戸に紙紙に仔

奈熊義熊若とこしにてる者よそ人とつらハ

紙に

十六日庚辰 雨降

十七日辛巳 朝迄雨降 三川流りこのちる志申らん 紙紙に

十七夜代待けん義主

十八日壬午 江戸惣總より仕合紙に中申来ハ八幡山松平云

善女房宿より源了心への合方ひきき書文  
紙に

十九日 癸未 晩より雨降 神宮小左衛門より林より紙に

廿日 甲申 たい□んふに石風呂に紙に

廿一日 乙酉 雨降 手作より初より紙に 惣監江戸に逗留す

てきいより寺時、紙にふせ永樂致す

廿二日 丙戌 雨降 十三郎水屋八江戸へ紙に

廿三日 丁亥 雨降

廿四日 戊子 大雨降

廿五日 己丑 雨降 富長に右衛門より山崎の子に紙に

村雨あり

廿六日 庚卯 惣監江戸より紙に

廿七日 辛辰 惣監時振舞い伊熊殿より雨降、沙汰中紙に

江戸へ林子進上中紙に

廿八日 壬辰 新巻ふり、場条に熊谷筋へこゝに初きしけ名

倉森八より紙に

廿九日 癸巳

晦日 甲午 晩より夕立

六月 小

一日 乙未 初茄子名倉森八より紙に 沼津元礼に紙に



二日丙申 土用、入同日迄雨降、  
時空伊勢、あつけい舟物儀、  
つらハ、いぬ大炊助、  
正徳より初夕、  
ね雨、怒總、  
福松、  
城、  
五、  
六、  
七、

三日丁酉 正徳より初夕、  
ね雨、怒總、  
福松、  
城、  
五、  
六、  
七、

四日戊戌 ね雨、怒總、  
福松、  
城、  
五、  
六、  
七、

五日己亥 熊鷹、  
福松、  
城、  
五、  
六、  
七、

六日庚子 伊豆下田、  
福松、  
城、  
五、  
六、  
七、

七日辛丑 戸田、  
福松、  
城、  
五、  
六、  
七、

一、  
二、  
三、  
四、  
五、  
六、  
七、

一、  
二、  
三、  
四、  
五、  
六、  
七、

一、  
二、  
三、  
四、  
五、  
六、  
七、

一、  
二、  
三、  
四、  
五、  
六、  
七、

八日 壬 出陣待合、戸三郎右に修理ヲつゝハ、同日

時分より夕立

九日 癸

十日 甲 八幡山より宗将に城に陣儀、江戸へ原田

金左衛門こゝに京より了意、而る来り

十一日 乙

十二日 丙 朝雨降

十三日 丁 雨降宗将より江戸よりら御に

十四日 戊 又江戸へ半助城に

十五日 己 殿様おこりら煩て居見存、江戸へ日くけ、城

十六日 庚 小坂後源左所、多々舞に城に出、殿様おこり

落、水野之左衛門身上あ、津よりつさ

十七日 辛 江戸迄、るりや大く、忍お、水清、ふ

舞に

十八日 壬 忍へ日くけ、ゆ、水着、八同心

十九日 癸

二十日 甲 江戸へ原田内記つゝハ、江戸より今度、法

陣、八当城、活る居、へ、中、来

廿一日 乙 江戸へ酒井平右衛門つゝハ、江戸より、ふ

る舞、了意、城、て、玄、正、侍、四、吟、の、連、歌、に

廿一日 乙卯

廿二日 丙辰

廿三日 丁巳

廿四日 戊午

廿五日 己未

廿六日 庚申

廿七日 辛酉

粒夕うらい

夕うら立い

了い意城いて四い吹い連い多い

新い頭い郎い煩いて下い結い務い殿いハい郎い之い所いおいくいとのいむ

ういひい城い江い戸いへいもい使い志い進い上い物い持い多いくい城いいいさいや

うい田い市いまいてい沼い津い能い人いといさいりいいいさいんいてい本い村い七い龍い

也い

然い然い之い所いけいのいあいるい舞いいい伊い熊い龍い心い富い辺い九い右い

出い門い馬いういりいのい表い麦い十い九い表い江い戸いよりい小い笠い原い

三い郎い九い郎い新い城いいいてい宿いくい城いいい晚いのい小い雨い降い

廿八日 壬戌

廿九日 癸亥

七月 大

三い九い新い城いいい土い藏い有いとい改い

又い江い戸いへい進い上い物い城い

一日 甲子

小い三い九いのいあいるい舞いいいてい城いいいむい生い子いのい刀い出いしい親い

父い三い郎い左い忠い向いへいハい板い物い同い女い房い能いハい檜い代い百い足い島い

二十い束い又い三い九い女い房い能い二人い紙い二十い束いのい折い田い

市い母いてい富い三い右い衛い門い小い性いあいるいあいるいりいといおいしい

いいそのいうい人い擲い打い

二日 丑 小三九ふる舞

三日 卯 花より霍乱炊

四日 辰 小三九のりら酒いといふ乞こら城い刀くら

れい

五日 巳 小三九らゆい上州既橋平岩七の助所より役と

ら城い為音信と且紙五束小湯一對柳一菱喰一

使、秩放し出富長之右衛門へ甲うい小笠原

孫六くくくい

六日 未 萩、りり夕立

七日 申 知行方見、城い晚、雨降中根新ハより給城

八日 酉 雨降 關東中間一人せいとい

九日 戌 申 壬

十日 亥 戌 癸 晚夕立

十一日 子 戌 甲 朔雨降萩夕立本田岩屋より瓜茶石松平越中

同心市を火うちりて人をうてい

十二日 丑 亥 乙 知行よりい所福松根家より舞い萩、入夕立十

三郎陣小と白こいこい

十三日 寅 子 知行い

十四日 卯 丑 知行、旅俄鬼をい

十五日 戌 施儀鬼

十六日 己 歌

とてや難波入江に船とめをけけのし麻乃  
多とゆふ  
をのり身こそとくきやくん心そけ  
麻乃ゆふ

十七日 庚 辰

十八日 辛 巳

十九日 壬 午

雨降 家康様奥州表へ出言今日岩付と出いて  
人をつりいり

廿日 癸 未

廿一日 甲 申

廿二日 乙 酉

廿三日 丙 戌

廿四日 丁 亥

廿五日 戊 子

廿六日 己 丑

廿七日 庚 卯

廿八日 辛 辰

廿九日 壬 巳

此方由福松松宮出陣の同為子居宮あり舞い

雨降村あり

村あり

雨降

雨降

龍園寺法若寺ふくの若久坊あり舞い

夕倉小笠原之郎左衛門より所へ城に雨降

雨降

晦日 癸巳 雨降 江戸の福松さ由の居る音信

八月大

一日 甲午

二日 乙未

三日 丙申

四日 丁酉

五日 戊戌

六日 己亥

七日 庚子

八日 辛丑

伊熊花熊が達成

雨降 越後屋のいゝいゝ

いゝんゝ入 水野藤八郎が合符へ引と成り永



楽残の百之内を賣出

九日 壬子 晩雨降 江戸へ出る居る音信の役とこゝ

十日 癸丑 同ふるいゝ晩より雨降之物妻引こゝ

五六人こゝ

十一日 甲辰 かくり落し時伊勢より新物いれ金と為計

分こりりいれ成り

十二日 乙巳 板倉查右衛門親子こゝ又かくりあつひ

十三日 丙午 晩より雨降

十四日 丁未 雨降秋ハ大雨かくりあつひ

十五日 戊申 雨降

家言

卒九

十六日 己酉 かこりあふひ

十七日 庚戌

十八日 辛亥 かこりあふひ

十九日 壬子 雨降

廿日 癸丑

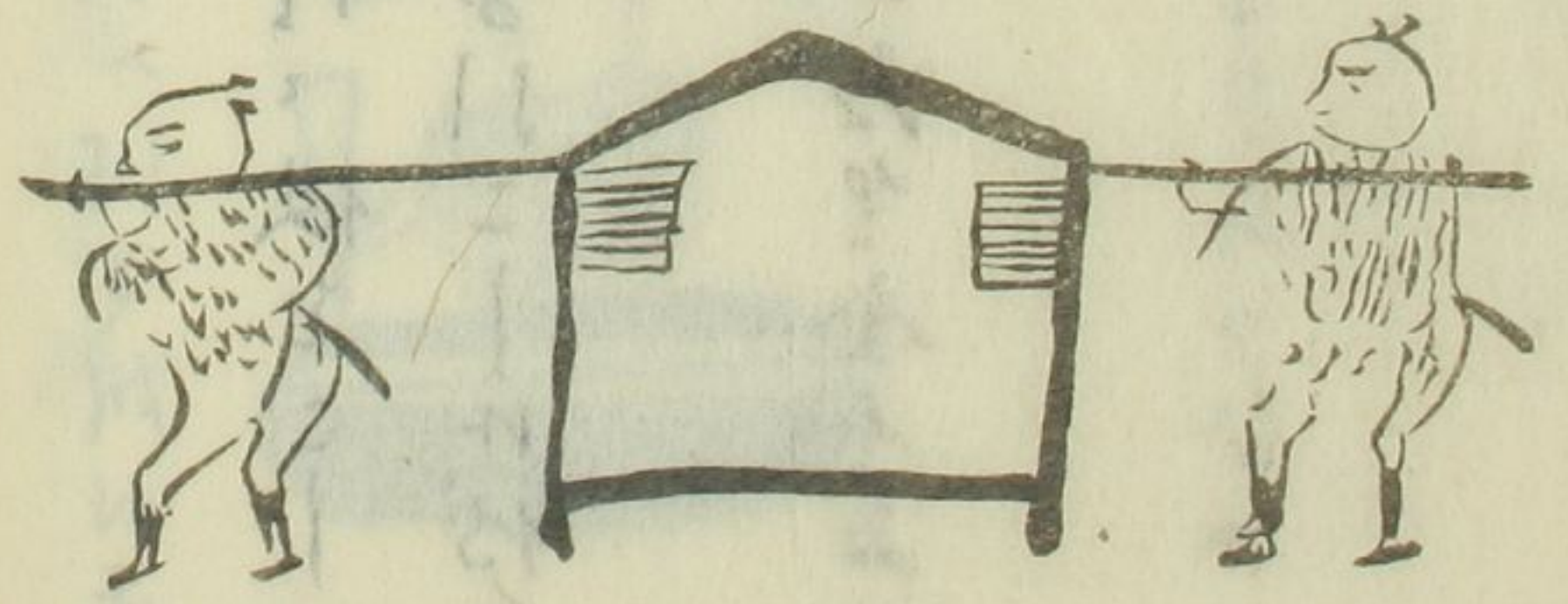
廿一日 甲寅

廿二日 乙卯

廿三日 丙辰 雨降

廿四日 丁巳 大炊坂娘死す中い忠路ら城に

廿五日 戊午



廿六日 己未 夜雨射刻に地震あり所福松娘留守居あり録

廿七日 庚申 小江戸よりきよとの池こころの長...

廿八日 辛酉 奥州陣所存分ニ成成の中

廿九日 壬戌 忠路江戸より江場外大炊助女房居候の中

三十日 癸亥 晩より雨降かく版江戸へ江城に半助も江戸へ

こころ

晦日 癸亥 雨降

九月 小

一日 甲子

二日 乙丑 松平圖書所へあふ録をて城に

家言

卒九

三日 丙 晩より雨降 腹中煩い 國おろりひさまとい

い 一い半助江戸より陽い大炊助女房煩い 中

四日 丁

五日 辰

いつもの法楽遊覧い 玄佐

六日 巳

色香より神代よりや秋の景 福松振定松井勘助所へ 秋火事出来い

七日 午

本光より家普徳い

八日 未

西屋五郎福松振より普忍領の奉納に 作付 いて城い

九日 申

福松振より舞い替おろり 此夏喰えいて城い

十日 酉

晩より雨降 おろり再覧い

十一日 戌

夢より夜へ入雨降 永ちるさ由んさや

東堂いこい

十二日 亥

東堂より舞い平右衛門三川へ城い

十三日 子

秋雨降 此赤煩てまろりとさい

十四日 丑

夜雨降 富長新右衛門より舞い城い 赤煩い

いりん 秋分い城い 國おろり落い

十五日 寅

赤煩い

十六日 卯

雨おろり落い 伴熊所より鷹おろりい



十七日 庚辰 夜雨 赤坂口事

十八日 辛巳 夜雨 赤坂口事

十九日 壬午 夜雨 赤坂口事

廿日 癸未 晩雨 降 赤坂口事 臺所前 井あり

廿一日 甲申 夜雨 同前事

廿二日 乙酉 夜雨 赤坂 茶師 壺坊 至 祈禱

廿三日 丙戌 赤坂 少能

廿四日 丁亥 伊能 花能 一 城 關 白 松 へ 出 入り 事 出

宅 中

廿五日 戊子 申刻 地震

廿六日 己丑 夜雨 降

廿七日 庚寅 夜雨 赤坂 國 かり あり

廿八日 辛卯 夜雨

廿九日 壬辰 鶉 屋 兵庫 見 舞 城

十月 六

一日 癸巳 兵庫 功 出 忠 孫 長 老 外 へ 参 入 あり 成

二日 甲午 殿 様 居 城 近 日 由 左 へ 此 方 へ 参 入 事

野 へ 参 入 あり 江 戸 あり 申 事

三日 乙未 雨 降 音 作 あり 西 辰 五 郎 居 あり

四日 丙申 出立よりこゝ江戸へ殿様御座候内

記とこゝ

五日 丁酉 冥白根唐入必令之殿様御座候中納言様

へ天下美申候

六日 戊戌

七日 己亥 福松より由緒多居候事

八日 庚子

九日 辛丑 名下へ美内記江戸より届候

十日 壬寅 又か國がこりあつ候

十一日 癸卯

十二日 甲辰 雪より晚より雨降三川より平右衛門内

九多のら候

十三日 乙巳 三州より意玉こゝ

十四日 丙午 萩五ツ時分作濃淺山大やけ候てとゝ

あり候てこゝ地震のまゝへゆき

十五日 丁未 水より厚や五層、こゝ出立より多候とて候

三川中島百姓流三郎こゝ

十六日 戊申

十七日 己酉 萩雨雪、成候五福候

十八日 庚戌

十九日 辛未 中納言格うらのさか迄西陽陣の中

廿日 壬子

廿一日 癸丑 新市日ヲ百塚、新市をさして引いりん中

廿二日 甲子 大修理江戸小笠原三九へつうハ一知新荒地

廿三日 乙卯 福松殿年寄所多舞

廿四日 丙辰 成刻の地震い

廿五日 丁巳 申納言格志十九日うらのさか迄西下りいせ

廿六日 戊午

廿七日 己未 惣臨時儀にて新成の殿格々いこり迄西陽陣

廿八日 庚申 江戸へ出仕

廿九日 辛酉 江戸へ集居出仕の殿格来十四五日頃、忍へ

晦日 壬戌

二十日 癸亥

二十一日 甲子

二十二日 乙丑

二十三日 丙寅

二十四日 丁卯

十一月大

一日 亥 新由一 小笠原三九郎殿所ハ 逗留ハ 治部大炊  
 助五ハ 夕ハ 一ツテ 誠ハ  
 二日 子 兼ナリ 五ツ時 迄 雨降大モ 一 迄 由ハ  
 三日 丑 忍ハ 由ハ  
 四日 寅 陣ハ 新由一 治部大炊 殿所ハ 兼ナリ  
 五日 卯 由ハ 又 十 日 的地形 比 一 せハ  
 六日 辰 成刻ハ 地震  
 七日 巳 新雨降  
 八日 午 子刻ハ 地震

九日 辛未

新連歌ハ 費ハ 家史

十日 壬申

去年 浅野 原 正 殿 あり けハ 白 手 箕 福 井 兵 部 殿

十一日 癸酉

又 由ハ 一 へ 也 五 日 作ハ 江戸 一 日 舞ハ 勘 右 丈 城

十二日 甲戌

款 時 雨 舞ハ たい ぶ 一 日 景 清 一 一 二 へ 三 番 福

十三日 乙亥

由ハ 一 へ 江戸 へ 一 一 一 日

十四日 丙子

由 鷹 部 殿 出 来 一 日

十五日 丑 下へ糸以勘方丈場

十六日 戌 刀

十七日 己 行

十八日 庚 辰

十九日 辛 巳

廿日 壬 午

廿一日 癸 未

廿二日 甲 申

松平越中府へふ多舞にて

七ノ時比若忠長先時儀にて此二ノ以去下へ

糸以より田宿夜中車出来三三ノ也け

又此福松振取水よりへや十間作よりつさ

大炊助所より油先之籠小田原鶴屋兵庫所より

あはひ来

夜雨降 殿板今日岩付迄歩

江戸より中來

已刻迄雨降 殿板

己へ二ノ

岩付へ右湯のハ城川越へ殿板

中來

川越へ修理ヲ城

水野清六同友以見舞

廿六日 戌 子

廿七日 己 丑

廿八日 庚 卯

廿九日 辛 辰

三十日 壬 巳

三十一日 癸 未

一日 甲 申

二日 乙 酉

三日 丙 戌

四日 丁 亥

五日 戊 子

六日 己 丑

七日 庚 卯



廿九日 卯 清六反江上御

晦 日 壬 殿 松 来 四 五 日 頃 此 方 成 可 成 以 中 中 来 以

穀 入 雪 雨 降

十二月小

一日 巳 癸 巳 刻 迄 雨 降

二日 午 甲 殿 松 明 日 之 日 此 方 成 以 以 几 由 本 田 佐 渡

か 喉 以 甚 十 郎 小 栗 忠 義 方 中 来 以 夜 入 雨 穀 中 雪

ふ ち

三日 未 乙 雪 ふ 殿 松 今 日 成 以 儀 相 迄 以 中 中 来 以 又 殿

松 此 方 成 以 儀 也 以 以 小 田 原 西 郡 へ 出 以

以 若 君 松 京 都 上 り 出 下 向 以 申 以 以 小 田 原 之 出

迄 方 々 小 田 原 へ 出 成 以 中 本 佐 小 忠 義 方 上 り

中 来 以 拙 志 上 り 若 君 松 出 迄 以 来 十 日 時 分 小

田 原 へ 出 以 以 以 以 由 喉 甚 十 上 り 中 来 以

四日 申 丙 家 中 侍 急 請 以 以 以 以 以

五日 酉 丁 富 長 孫 左 忠 門 所 以 以 以 以 以 以 以 以

六日 戌 戊 名 倉 孫 八 へ 以 以 孫 以 以 以 以 以

七日 亥 己 名 倉 孫 八 へ 以 以 孫 以 以 以 以 以

八日 子 庚 石 原 孫 以 以 以 以 孫 以 以 以 以 以

九日 丑 辛 若 君 松 為 出 迄 孫 以 以 以 以 以 以 以



家書  
印  
言  
三

廿三日 卯

廿四日 辰

廿五日 巳

廿六日 午

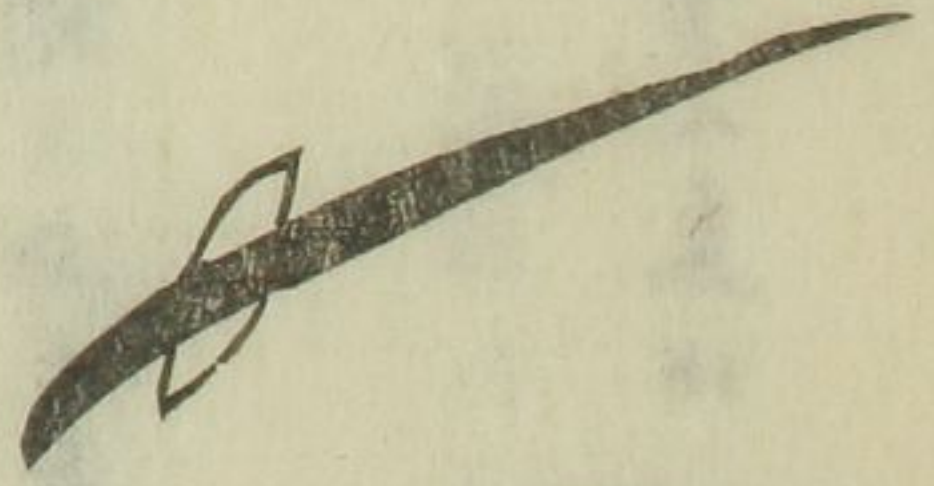
廿七日 未

廿八日 申

廿九日 酉

三十日 戌

三十一日 亥



江戸へ城年とうろハ迄城いふと祿ふとけり  
のり物にてこい

江戸へ系着い祿ふとけり  
すい夜雨降を福松根近日出りりい  
下総にて替いり申い



